

平成28年度事業報告書

公益社団法人
愛知県医師会

事業（庶務・事務）に関する年度報告書

平成28年度の本会会務の運営並びにその事業の実施状況は、その都度、「愛知医報」等でご報告をいたしました。

その大要は次の通りであります。

○ 庶務に関する事項

1. 会員の異動

入 会	549名（県内異動も含む）
退 会	359名（ 〃 ）
死 亡	97名
現在会員数	9,271名〈別表1参照〉

（平成29年3月31日現在）

2. 文書の収受、発送

収 受	26,025件
発 送	353,269件

3. 会員の榮譽

(1) 平成28年春の褒章・叙勲者に対し記念品を贈り榮譽をたたえました。

瑞宝小綬章	原 孝 子 殿
旭日双光章	牧 原 良 行 殿
瑞宝双光章	丹 羽 巽 殿
瑞宝双光章	早 川 直 和 殿

平成28年秋の褒章・叙勲者に対し記念品を贈り榮譽をたたえました。

瑞宝中綬章	中 野 浩 殿
瑞宝双光章	白 井 明 生 殿
藍 綬 褒 章	馬 淵 千 之 殿

(2) 平成28年愛知県医師会表彰規程による被表彰会員に記念品を贈り表彰いたしました。

中 村 区	細 川 秀 一 殿
南 区	榊 原 有 作 殿

一宮市	重村元嗣殿
一宮市	瀬瀬雅明殿
一宮市	野村敦殿
瀬戸旭	黒江幸四郎殿
豊田加茂	野場万司殿
名古屋市立大学	村上信五殿

(3) 平成28年難病の学術的研究に功績のあった会員に記念品を贈り表彰いたしました。

名古屋大学大学院医学系研究科

皮膚病態学分野教授 秋山真志殿

愛知医科大学

内科学講座教授 高木潤子殿

藤田保健衛生大学医学部

腎内科学助教 林宏樹殿

名古屋市立大学大学院

リハビリテーション医学講座教授 和田郁雄殿

4. 物故会員

本年度(平成28年4月～平成29年3月届出分)の物故会員は97名でありました。〈別表2参照〉
謹んでご冥福をお祈りいたします。

○ 事業に関する事項

1. 会議

(1) 代議員会 3回

◆ 愛知県医師会第176回(臨時)代議員会を平成28年5月21日(土)愛知県医師会館において開催し、次の選挙及び議事を行いました。

選挙

- (1) 議長、副議長
- (2) 理事(会長候補者、副会長候補者、理事候補者)
- (3) 監事
- (4) 裁定委員
- (5) 日本医師会代議員、同予備代議員

議 事

第1号議案 次期役員（会長、副会長、理事、監事）及び裁定委員の就任日に関する件

第2号議案 日本医師会代議員、同予備代議員選出及び就任日に関する件

- ◆ 愛知県医師会第177回（定例）代議員会を平成28年6月18日(土)愛知県医師会館において開催し、次の報告、議事、協議を行いました。

報 告

(1) 平成27年度事業報告

議 事

第1号議案 平成27年度決算に関し承認を求めるの件

第2号議案 愛知県医師会役員（会長、副会長、理事、監事）及び裁定委員選任の件

第3号議案 愛知県医師会役員（会長、副会長）選定の件

第4号議案 顧問委嘱に関する件

代議員協議会

- ◆ 愛知県医師会第178回（臨時）代議員会を平成29年3月18日(土)愛知県医師会館において開催し、次の報告、議事、協議を行いました。

補欠選挙

日本医師会代議員 2名

報 告

(1) 平成29年度事業計画報告

(2) 平成29年度予算報告

議 事

第1号議案 平成29年度会費の賦課徴収に関する件

第2号議案 平成29年度会費減免申請に関する件

第3号議案 平成29年度入会金の賦課徴収に関する件

協 議

(2) 理 事 会 38回

- ◆ 原則毎月第1木曜日を除く第2～第5木曜日に開催。
内容については、その都度、愛知医報・ホームページ(情報公開)に掲載いたしました。

(3) 各種委員会・部会・協議会・その他

・医学教育の向上	
「現代医学」誌編集委員会	2回
「現代医学」誌編集（小）委員会	2回
指導医のための教育ワークショップ	1回
治験審査会	12回
・医師の生涯教育	
生涯教育委員会	1回
・医療政策・医事法・医業経営の調査・研究 (調査室)	
調査室委員会	22回
調査室委員会勉強会	1回
保険医協会との懇談会	6回
(愛知県医師会地域医療政策研究機構)	
愛知県医師会地域医療政策研究機構委員会	12回
専門医に関するワーキンググループ	4回
倫理委員会	1回
・公衆衛生の指導啓発	
健康教育委員会	6回
環境衛生委員会	4回
愛知県広域予防接種事業運営委員会	4回
県下医師会医療廃棄物担当理事連絡協議会	1回
愛知県新型インフルエンザ等対策総合訓練	1回
感染症及び結核講演会	1回
感染症・予防接種研修会	1回
・地域医療の推進発展	
難治性疾患委員会	1回
検視立会医死体検案業務研修会	2回
愛知県医師会検視医研修会	1回
警察部会幹事会	2回
愛知県医師会警察部会と愛知県警察歯科医会との協議会	1回
麻薬等に関する懇談会	1回
勤務医部会幹事会	6回

愛知県糖尿病対策推進会議	1回
愛知県医師会医療圏医療協議会	1回
四大学連絡協議会	1回
・救急医療・災害医療対策	
救急委員会	9回
救急委員会小委員会	1回
小児救急連携体制協議会	3回
災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会	1回
愛知県医師会無線システム災害想定訓練	8回
BLS&AED講習会（名古屋市医師会と共催含む）	2回
愛知県救急医療情報センター運営連絡協議会	1回
中部国際空港消火救難・救急医療活動総合訓練	1回
県営名古屋空港消火救難総合訓練	1回
小児救急に関する研修会	3回
こどもの命を守るために事故防止と乳幼児心肺蘇生セミナー	3回
愛知県救急医療推進大会	1回
愛知県医師会PTLS講習会	1回
愛知県医師会ICLS研修会	1回
救急医療・災害医療シンポジウム	1回
愛知県災害医療コーディネーター研修	1回
愛知県における重症小児患者の診療実態に関する症例検討会	1回
・地域保健の向上	
産業保健部会幹事会	6回
学校保健部会幹事会	4回
学校保健部会学校健診委員会	3回
第50回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会 実行委員会	2回
学校保健シンポジウム	1回
愛知県学校保健健診懇談会	1回
心電図精度管理調査解析検討会	1回
平成29年度 定期健康診断における精度管理説明会	1回
小児CKD（慢性腎臓病）対策講習会	1回
母体保護法指定医師審査委員会	6回
母体保護法指定医師講習会	5回

・医療保険・介護保険の充実

(医療保険関連)

社保集団指導講習会並びに医療安全説明会	4回
社保指導委員会	6回
社会保険診療報酬支払基金愛知支部と愛知県医師会との意見交換会	1回
国保連絡協議会	2回
保険診療懇談会	1回
全国健康保険協会 愛知支部と公益社団法人 愛知県医師会による意見交換会	1回

(介護保険関連)

地域医療介護委員会	10回
介護保険対策推進検討会議	2回
地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会	1回
保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム	1回
認知症対応病院実地指導企画支援会議	7回
医療従事者の認知症対応力向上研修	3回
かかりつけ医認知症対応力向上研修	2回
認知症サポート医フォローアップ研修	1回
在宅医療サポートセンター連絡協議会	2回
在宅医療サポートセンター実務者協議会	6回
在宅医療サポートセンター実務者養成研修会	4回
小児在宅医療推進企画委員会	2回
あいち小児在宅医療実技講習会	1回

・医療安全対策の推進

医療安全対策委員会	12回
医療安全対策（小）委員会	9回
医療安全支援センター（苦情相談センター）委員会	12回
医療安全支援センター（苦情相談センター）小委員会	4回
愛知県医師会剖検システム運営協議会	1回
愛知県医療事故調査等支援団体連絡協議会開催に向けての検討会	1回
愛知県医療事故調査等支援団体連絡協議会	1回

・医療施設の整備

精度管理委員会	2回
精度管理小委員会	1回

精度管理研修会	1回
共同利用施設委員会	1回
・ 会員の福祉の向上	
愛知県医師会事業概要等説明会	1回
会員相談窓口事例検討会	1回
・ 医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動	
(渉外)	
中部医師会連合常任委員会	13回
中部医師会連合常任委員会懇談会	2回
中部医師会連合日医代議員協議会	2回
中部医師会連合事務局長連絡協議会	2回
中部医師会連合委員総会	1回
中部医師会連合社会保険特別委員会	2回
中部医師会連合介護保険特別委員会	2回
中部医師会連合勤務医特別委員会	2回
関西医師会連合常任委員会	1回
(IT化対策)	
ホームページ・IT化対策委員会	5回
(広報)	
広報委員会	11回
医師会史編集委員会	2回
報道関係者との懇談会	5回
・ 医師・医療関係従事者対策	
(医師確保対策事業の推進)	
男女共同参画委員会	5回
医学生、研修医等をサポートするための会	1回
名古屋市医師会・愛知県医師会 新研修医並びに指導医ウェルカム パーティ	1回
(医療従事者対策)	
愛知県医師会立名古屋助産師学院入学式	1回
愛知県医師会立名古屋助産師学院卒業式	1回
愛知県医師会立名古屋助産師学院運営協議会	2回
医療関連職検討委員会	2回

医療事務員講習会	30回
医療事務員資格認定試験	1回
病院職員のための教育ワークショップ	2回
学校法人電波学園あいちビジネス専門学校の日本医師会認定医療秘書養成に 関する運営委員会	1回
・会務運営・総務・財務	
県下医師会長等協議会	7回
議事運営委員会	3回
人事委員会	4回
選挙管理委員会	2回
監事会	1回
臨時監事会	1回
日医代議員と本会役員との合同協議会	2回

2. 業 務

(1) 諸調査の実施

- 1) 救急患者実態調査
- 2) 休日診療所における救急患者実態調査
- 3) 小児時間外救急の実態調査
- 4) 急性期脳卒中に関するアンケート調査
- 5) 急性心筋梗塞に関するアンケート調査
- 6) 気管支喘息発作に関するアンケート調査
- 7) 熱傷入院患者取扱実績報告
- 8) 平成28年（2016年）熊本地震における日本医師会災害医療チーム(JMAT)派遣の登録募集
- 9) 愛知県における重症小児患者の診療実態に関する調査（1次・2次）
- 10) 学校医・園医報酬調査
- 11) 貴県における個別指導等の状況について
- 12) 在宅医療の提供と連携に関する実態調査
- 13) 在宅医療・介護連携推進事業における市町村行政との連携等に係るアンケート調査
- 14) 平成29年度愛知県広域予防接種事業への協力について
- 15) 愛知県広域予防接種事業における追加ワクチン（B型肝炎）について
- 16) 水銀血圧計等回収事業への参加について
- 17) 水銀血圧計等の保有・回収事業参加意向に関するアンケート調査

(2) 会報・医学雑誌その他の発行

- ・愛知医報
- ・「現代医学」誌 第63巻2号（Web版）・第64巻1号（Web版）

(3) 医学教育の向上

・現代医学

「現代医学」誌編集委員会において、平成28年9月開催時に第65巻1号（平成29年6月号）、平成29年2月開催時に第65巻2号（平成29年12月号）の掲載内容を検討いたしました。

「現代医学」誌においては、第63巻2号（Web版）・第64巻1号（Web版）を発行いたしました。

・スポーツ医学

- 1) 健康スポーツ医の養成とその資質向上を通して地域保健活動の一環である健康スポーツ医活動の推進を図るために、日本医師会が定めた講習科目に基づく健康スポーツ医学講習会を修了したと認められる医師に、日本医師会認定健康スポーツ医の認定証が交付されます。本会ではその新規・更新に係る手続きを行いました。
- 2) 各団体が実施する研修会において、日本医師会認定健康スポーツ医制度における健康スポーツ医学再研修会としての承認申請の手続きを行いました。また、日本医師会承認の健康スポーツ医学再研修会を愛知医報に掲載して周知いたしました。
- 3) 本会主催の日本医師会認定健康スポーツ医学再研修会を、愛知県医師会館9階大講堂において、1月18日(水)に「障がいスポーツのあり方と帯同」と題し、岐阜大学大学院医学系研究科骨再建外科学先端医療講座准教授の青木隆明先生を講師として、2月14日(火)に「市民健康マラソンの現場における健康スポーツ医の役割（CPAの経験から）」と題し、大東文化大学大学院スポーツ・健康科学研究科、同大学スポーツ・健康科学部健康科学科教授の太田眞先生を講師として開催し、合計132名の参加者があり、受講証明書を配付いたしました。

・治験推進事業

- 1) 会員によるEBM（Evidence-Based Medicine）の実践を目的として、臨床試験及び製造販売後臨床試験等の実施ネットワークを構築かつ推進するため、治験依頼者からの治験相談、治験実施医療機関の登録及び環境整備の支援を行いました。
- 2) 本会治験審査会は、主として製薬会社主導の治験審査を行っており、会員治験実施医療機関が治験を安全かつスムーズに行えるよう、毎月治験審査会を開催いたしました。なお、本期間中の新規案件は4件、新規施設追加案件は5件でした。
また、8月27日(土)にJPタワー名古屋において、「愛知県医師会治験講演会～認知症の現状と未来～」を開催し、117名の参加者がありました。

(4) 医師の生涯教育

・生涯教育

- 1) 各会員に向けて、自身の生涯教育単位、カリキュラムコード取得状況を確認いただくための封筒を作成し、配付いたしました。5月14日(土)ミッドランドホールにおいて「日医生涯教育協力講座セミナー 認知症に寄り添う～地域生活継続可能な社会に向けて～」(共催：日本医師会・愛知県医師会)を開催し、348名の参加者がありました。
- 2) 「日本医師会生涯教育講座」を8月～11月に8回開催いたしました。(別表3参照)
また、平成28年度日本医師会生涯教育制度の単位申請にあたり、審査及び登録を行い、主催者から提出される報告書を元に、「生涯教育管理システム」に1,581件登録いたしました。

(5) 医療政策・医事法・医業経営の調査・研究

・調査室

- 1) マスメディア・業界誌はもとより、日医・関係団体、国会・地方議員、行政、有識者等の幅広い人脈を活かし、医療問題に限らずそれに影響する国内外の政治情勢、経済動向などに関する情報を収集し、議論を重ねました。その上で、あるべき医療政策の実現に向けて必要な提言・要望を行い、安心・安全な医療提供体制を維持する上で、健全な医業経営に向けた環境整備が必要であるとの考えのもと、関係法令の解釈、診療報酬改定や税制改正に伴う影響等についても検証いたしました。
- 2) 日医医業税制検討委員会に委員として参加し、会長諮問事項について、検討・協議いたしました。
- 3) 医療関係制度を始め、近年注目される事項についての最新知見を愛知医報に調査室だよりとして掲載し、会員への周知をいたしました。
- 4) 愛知県医師会調査室委員会勉強会として9月17日(土)に「医療と消費税」「医業の事業承継税制」をテーマに、筑波大学名誉教授・日本税理士会連合会 税制審議会会長代理、弁護士・株式会社野村資産承継研究所理事長・日本医師会医業税制検討委員会委員長の品川芳宣先生にご講演いただき、53名の参加者がありました。
- 5) 「平成28年度会員意識及び実態調査」を全会員に向け、発送・回収いたしました。

・愛知県医師会地域医療政策研究機構

毎月1回委員会を開催し、主に「地域医療構想区域の設定」について検討を行いました。また、8月には「新専門医制度」の検討を目的に、「専門医に関するワーキンググループ」を、本機構の中に設置いたしました。

(6) 公衆衛生の指導啓発

・健康教育

- 1) 県民を対象とした健康教育講座を各分科医会の協力のもと、本会館において12回、あいち県民健康祭（あいち健康プラザ）で1回開催いたしました。また、名古屋市外での地域開催を11回開催いたしました。（愛知県泌尿器科医会、碧南市医師会、豊田加茂医師会、豊橋市医師会、岡崎市医師会に共催6回、本会主催5回）〈別表4参照〉
- 2) 県民向けに「誰もが・いつでも・どこでも」正しい健康情報を手に入れられるよう、愛知県の委託事業として、健康情報の総合サイト「あいち健康ナビ」を運用しております。また、「あいち健康ナビ」の啓発活動の一環として「あいち健康ナビ 平成28年度健康コラム集」を作成し、病院、地区医師会、分科医会、自治体等関係団体に配付いたしました。
- 3) 「あいち健康ナビ」のセミナー、イベント情報の充実を図るため、県内の病院（会員機関等）に投稿団体として登録していただけるよう本サイトを改修いたしました。なお、3月31日現在で、86機関にご登録いただいております。

・環境衛生

- 1) 感染症、予防接種、環境保健、結核等対策につきまして、県当局と連携し、地域医師会への情報提供を行いました。特に協議が必要な事項につきましては、環境衛生委員会にて協議・検討いたしました。
また、環境衛生委員会では、結核・感染症対策医師講習会実施事業を地区医師会とともに企画いたしました。
- 2) 愛知県健康福祉部保健医療局健康対策課が主催する関係会議へ出席し、各種事項について検討・協議いたしました。
- 3) 日本医師会公衆衛生委員会に委員として参加し、会長諮問事項について検討・協議いたしました。
- 4) 5月24日(火)に県下医師会医療廃棄物担当理事連絡協議会を開催し、本会が実施する医療機関に退蔵されている水銀血圧計等回収事業についての説明を行いました。
- 5) 本会の実施する「医療機関に退蔵されている水銀血圧計等回収事業」にて水銀血圧計等の処理・処分を委託する野村興産（株）イトムカ鉱業所（北海道北見市）へ8月5日(金)に現地視察調査を実施しました。また、10月・11月の2期に分け参加地区医師会を回収拠点として、水銀血圧計4,962台、水銀体温計10,262本、詰替用水銀約40kgを回収いたしました。
- 6) 平成28年度結核・感染症対策講習事業として、名古屋市医師会・西名古屋医師会・新城市医師会に事業を委託し、愛知県医師会でも10月15日(土)に「平成28年度感染症及び結核

講演会」を開催し、「愛知県における感染症の動向－輸入感染症を中心に」と題し、愛知県衛生研究所所長の皆川洋子先生、『結核医療の基準』の改定と最新の結核診療』と題し、国立病院機構東広島医療センター非常勤医師の重藤えり子先生にご講演いただき、159名の参加者がありました。

- 7) 12月13日(火)に、政府全体訓練と連携した愛知県新型インフルエンザ等対策訓練を実施し、県下医師会のご協力のもと、情報伝達訓練を行いました。
- 8) 公益財団法人エイズ予防財団の委託研修として、また、子ども予防接種週間に鑑み、「感染症・予防接種研修会」を開催し、「日本のHIV感染症/エイズ診療の現況～これからの校医には必須の知識～」と題し、国立病院機構名古屋医療センターエイズ総合診療部長の横幕能行先生、「予防接種・感染症に関わる最新情報を含んだ情報提供－インフルエンザ、麻疹、ジカウイルス感染症、風疹、梅毒、HPV など－」と題し、川崎市健康安全研究所所長の岡部信彦先生にご講演いただき、229名の参加者がありました。

・ 広域予防接種事業

- 1) 愛知県広域予防接種事業運営委員会では、事故報告への対応、今後の対象ワクチン、各種検討事項等の検討・協議いたしました。
- 2) 平成28年4月1日よりB類疾病定期予防接種の広域化を開始し、全ての定期予防接種が広域化されました。
- 3) 平成28年10月より定期接種化されるB型肝炎ワクチンの広域化を開始するため、5月16日(月)にワーキング会議を開催し、県内市町村と実施に向け調整を行い、6月20日(月)に開催した調整会議にて全市町村の了承を得ました。
- 4) 愛知県広域予防接種事業における追加ワクチン（B型肝炎）の協力依頼を2,488医療機関へ送付いたしました。
- 5) 平成29年度の本事業への協力依頼を2,616医療機関へ送付いたしました。
- 6) 毎月20日に接種協力医療機関・医師名簿を更新し、愛知県に提出しています。
また、課題や事故、書類の返戻など各種事項に対し、県下医師会長等協議会等を通じ、留意事項として伝達いたしました。
- 7) 3月1日現在で、2,617医療機関にご登録いただいております。

(7) 地域医療の推進発展

・ 医療連携

(医療計画)

各医療圏の医師会・病院関係者等が地域特性に応じた医療連携を視野に入れ、具体的な事業の意見交換並びに活動を通じ、それぞれの医療圏における保健・医療・福祉提供体制の

整備及び充実を図ることを目的とし、愛知県医師会医療圏医療協議会を設けております。
今年度は2月3日に開催し、地域医療構想について話し合いました。

(病診連携)

地域医療支援病院の運営委員会や、大学の運営協議会等の委員として出席し、地域の病診連携の現状及びその問題点の把握に努めました。

・難治性疾患対策

- 1) 難病相談室の平成28年度の相談件数は2,361件で、月平均の相談件数は197件でした。(別表5参照)
- 2) 4月28日(木)、10月20日(木)、1月26日(木)、2月23日(木)に開催された「愛知県指定難病審査会」に出席いたしました。
- 3) 6月18日(土)に名古屋国際センターにて開催された「先天性代謝異常症のこどもを守る会 なごやか交流会」に講師を派遣いたしました。
- 4) 7月6日(水)に開催された「平成28年度岡崎市難病対策ネットワーク会議」に出席し、難病相談室での支援内容について報告いたしました。
- 5) 愛知県から難病指定医等研修実施事業の委託を受け、協力難病指定医研修を7月9日(土)、7月23日(土)、1月29日(日)、3月4日(土)に開催し、合計73名の受講者がありました。
- 6) 愛知県から難病指定医等研修実施事業の委託を受け、難病指定医研修を10月23日(日)、12月4日(日)、1月29日(日)に開催し、合計474名の受講者がありました。
- 7) 愛知県・名古屋市から小児慢性特定疾病指定医等研修実施事業の委託を受け、小児慢性特定疾病指定医研修を3月19日(日)に開催し、合計63名の受講者がありました。
- 8) 9月5日(月)、2月1日(水)に愛知県庁三の丸庁舎にて開催された「平成28年度愛知県小児慢性特定疾病児童等地域支援協議会」に出席いたしました。
- 9) 10月10日(月・祝)にウインクあいちにて開催された「第43回愛知難病団体連合会定期大会」に参加いたしました。
- 10) 10月13日(木)に天白保健所にて開催された「指定難病療養中の方とご家族のつどい」に講師を派遣いたしました。
- 11) 10月14日(金)に豊橋保健所にて開催された「平成28年度筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者・家族のつどい」に講師を派遣いたしました。
- 12) 10月27日(木)に北名古屋市役所にて開催された「尾張中部ネットワーク構築会議」に出席し、協議・検討いたしました。
- 13) 「難病グループワーク(疾患別患者・家族のつどい)」を以下のように実施し、合計79名の参加者がありました。

平成29年1月31日(火) 障害年金勉強会①

平成29年 2月13日(月)	障害年金勉強会②
平成29年 3月10日(金)	就労勉強会
平成29年 3月23日(木)	神経難病患者・家族のつどい
平成29年 3月29日(水)	網膜色素変性症患者・家族のつどい

- 14) 「難病講習会」を11月 2日(水)、11月25日(金)、11月30日(水)に愛知県、名古屋市と共催にて開催し、合計312名の参加者がありました。
- 15) 12月15日(木)に愛知県本庁舎にて開催された「平成28年度愛知県難病医療連絡協議会・連絡会（合同会議）」に出席いたしました。
- 16) 2月17日(金)に名古屋市役所にて開催された「名古屋市難病対策地域支援ネットワーク会議」に出席いたしました。
- 17) 2月23日(木)に北保健所にて開催された「医療生活相談会」に講師を派遣いたしました。
- 18) 「平成28年度難病講演会」を 3月22日(水)に開催し、合計82名の参加者がありました。

・糖尿病対策

- 1) 9月 7日(水)に「愛知県糖尿病対策推進会議」を開催し、糖尿病対策におけるかかりつけ医機能の充実を図るために、本年度も学術講演会を企画し内容について検討いたしました。
- 2) 6月から12月の期間において、愛知県内 6箇所の健診機関に依頼し、健診・人間ドック受診者を対象に「問診票を利用した糖尿病検診の有用性調査」を実施いたしました。より多くの方々に糖尿病の危険性を認識していただくため、問診票の結果と糖尿病の関連性を分析し、その結果を踏まえて愛知県における糖尿病対策に役立てました。
- 3) 世界糖尿病デーブルーライトアップ事業の経費補助について、愛知県糖尿病対策推進会議が窓口となり実施団体を取り纏めて、世界糖尿病デー実行委員会への申請と実施後の報告の手続きを行いました。
- 4) 11月27日(日)に愛知県歯科医師会館で開催された「愛知県歯科医師会・愛知県医師会平成28年度 医療連携講演会」に共催し、257名の参加者がありました。
- 5) 2月25日(土)に中日パレスクラウンホールにおいて「平成28年度愛知県糖尿病対策推進会議 学術講演会」を開催し、217名の参加者がありました。
- 6) 愛知県健康づくり推進協議会、公益財団法人愛知腎臓財団理事会、東海がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン合同会議、愛知県健康づくり推進協議会歯科口腔保健対策部会、愛知県健康づくり推進協議会がん対策部会に出席し、検討・協議いたしました。

・COPD対策

NPO法人愛知県COPDネットワーク事業説明会、NPO法人愛知県COPDネットワーク総会、愛知県慢性閉塞性肺疾患（COPD）対策会議に出席し、検討・協議いたしました。

・ 四大学連絡協議会

5月19日(木)に、名古屋大学、名古屋市立大学、藤田保健衛生大学、愛知医科大学の学長、医学部長、病院長をお招きし、各学会における専門医制度に対する方針や意見・現状について意見交換が行われました。

・ 在宅医療

・ 県内全域の在宅医療提供体制の整備および推進することを目的に、平成27年4月より「在宅医療サポートセンター事業」を展開しております。具体的には、県内全ての地区医師会に在宅医療サポートセンター（42か所）を、原則として二次医療圏ごと（名古屋医療圏は4か所）に在宅医療中核サポートセンター（15か所）を設置し、在宅医療提供体制構築の支援や在宅医療に関する相談窓口の設置、後方支援病院の確保や退院調整機能の構築などの取り組みを実施いたしました。

また、全体の情報収集および調整機能は本会地域包括ケア推進室が担い、各地域の課題等を把握検討するため定期的に合同会議（在宅医療サポートセンター連絡協議会、実務者協議会）を開催し、円滑な事業運営に努めました。

なお、当事業は地域医療介護総合確保基金（医療分）の活用によるため、平成27～29年度までの3年間実施する時限事業であります。

- 1) 在宅医療サポートセンター連絡協議会を5月13日(金)、3月15日(水)に開催いたしました。
- 2) 在宅医療サポートセンター実務者協議会を5月13日(金)、7月5日(火)、9月6日(火)、11月8日(火)、1月24日(火)、3月15日(水)に開催いたしました。
- 3) 在宅医療サポートセンター実務者養成研修会を7月5日(火)、9月6日(火)、11月8日(火)、1月24日(火)に開催いたしました。
- 4) 各サポートセンターの運営状況の把握および会計処理の適正化を図るため、定期的な訪問調査を行いました。

・ 新生児集中治療管理室（NICU）等で長期の療養を要した児を始め、在宅医療を必要とし人工呼吸器を装着している障害児や日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児（以下「医療的ケア児」という。）が在宅で安心して療養するには、医療的ケア児やその家族が必要な訪問診療や訪問看護などの医療を受けながら生活することができる体制の整備が重要であります。

本会では愛知県より小児在宅医療普及推進事業（平成28～29年度の時限事業）を受託し、医師、医療従事者を対象に医療的ケア児の治療に関する研修等を実施し、医療的ケア児に対応できる人材を育成することで退院支援から生活の場における療養支援、急変時の対応など継続した小児在宅医療連携体制の構築を図りました。

- 1) 小児在宅医療推進企画委員会を10月23日(日)、2月19日(日)に開催いたしました。

2) あいち小児在宅医療実技講習会を12月18日(日)に開催いたしました。

・警察

1) 警察行政全般に対し、事業計画に従い諸問題を検討いたしました。

愛知県警察医会が平成28年5月28日(土)に解散され、愛知県医師会警察部会と統合することになり、今後の委員構成について協議いたしました。平成29年3月末日における検視立会医は183名でした。

2) 警察部会員に対し、検視医研修会を10月29日(土)に開催いたしました。

・勤務医

勤務医の学術の向上、勤務環境の改善、福祉の増進、相互の連帯・親睦を図ること等を目的として勤務医部会を設置しており、会員勤務医の医師会諸活動への参加を促すとともに、医師会未加入の勤務医にも医師会活動全般をより深く理解していただき、医師会への入会を働きかけるよう様々な勤務医対策の検討を行っております。平成28年度は以下の通り活動いたしました。

1) 隔月開催の定例幹事会において、女性医師に対する支援策や新専門医制度等、勤務医が関わる問題について検討いたしました

2) 広報活動としては、「愛知医報」の「勤務医部会だより」に、幹事会議事内容の報告や、幹事が交代で執筆したコラムを掲載いたしました。

3) 11月26日(土)には大阪府で「全国医師会勤務医部会連絡協議会（テーマ: 2025年問題と勤務医の役割）」が開催され、本部会から7名が出席いたしました。

4) 愛知県勤務医師生活協同組合と連携し、勤務医の福利厚生の上にも力を入れました。
6月15日(水)には、愛知県勤務医師生活協同組合総会に先立ち、一般社団法人日本血液製剤機構の谷澤正明氏をお招きし、「『平成28年度診療報酬改定から見る医療制度改革の方向性』～各病院はいかに対応するか」と題して講演会を共催し、69名の参加者がありました。

以上の他、8月28日(日)、9月25日(日)の2回にわたり「中部医師会連合勤務医特別委員会」が開催され、(1)医療事故調査制度の実際と見直しについて、(2)新専門医制度への対応について、(3)勤務医の医師会活動についての3点について協議がなされ、11月12日(土)・13日(日)の「中部医師会連合委員総会」において報告が行われました。

・自殺対策

1) 6月9日(木)に愛知県本庁舎で開催された平成28年度愛知県自殺対策推進協議会に出席いたしました。

2) 7月12日(火)に愛知県自治センターで、12月20日(火)に愛知県本庁舎で開催された愛知県アルコール健康障害対策推進計画策定検討委員会に出席いたしました。

- 3) うつ病の早期発見・早期治療による一層の自殺対策の推進を図るため、厚生労働省「かかりつけ医等心の健康対応力向上研修事業」を愛知県より受託し、下記のとおり研修会を開催いたしました。

7月31日(日)	13:00~17:00	名鉄ニューグランドホテル	参加者:31名
11月20日(日)	13:00~17:00	ホテルグランドティアラ安城	参加者:26名
12月4日(日)	13:00~17:00	中日パレス	参加者:45名

・日医電子認証センター（日本医師会認証局）

平成27年度までは、医師資格証発行希望者の受付・事前審査・本審査を地域受付審査局（LRA）として行ってまいりましたが、今年度より医師資格証運用制度が変更となり、申請方法も変更されました。新しい運用制度では、申請は直接日本医師会電子認証センターが受け、医師資格証の受渡しを、本会で行いました。平成28年度に本会では20件の受渡しを行いました。また対応可能な地区医師会での受渡しも行っております。

(8) 救急医療・災害医療対策

・災害・救急医療対策

- 1) 平成28年（2016年）熊本地震において、JMAT（日本医師会災害医療チーム）を編成し、熊本市北区へ5月1日(日)～5月3日（火・祝）に第1班、5月3日（火・祝）～5月5日（木・祝）に第2班を派遣し、医療救護活動を行いました。
- 2) 愛知県医師会無線システム並びに愛知県広域災害・救急医療情報システム、災害時優先携帯電話の運用訓練を6月7日(火)、8月2日(火)、9月6日(火)、10月4日(火)、11月1日(火)、12月7日(水)、2月1日(水)、3月7日(火)に行い、無線機等の使用方法の確認と災害を想定した訓練を行いました。
- 3) 6月12日(日)に医師、医療従事者、消防関係者対象の災害時・災害訓練に役立つトリアージ研修会を開催し、197名が参加し、修了証を配付いたしました。
- 4) 8月28日(日)に愛知県・岡崎市総合防災訓練に参加し、後方搬送医療機関の情報収集に関する作業、応急救護所の開設・運営、遺体の身元確認等の検案作業を実施いたしました。
- 5) 日本医師会、厚生労働省、総務省消防庁、県が作成した救急医療週間ポスター、CAB+Dカードの配付を行い、救急週間の啓発に努めました。また、9月9日(金)に愛知県救急医療推進大会を開催し、「やけどの治療 — 最近の進歩について—」をテーマに講演会を行いました。さらに、救急蘇生法講習・応急手当講習を行い、県民への救急医療に関する知識普及と医療関係者の意識の高揚を図り、130名の参加者がありました。
- 6) 9月30日(金)、12月9日(金)、2月22日(水)に「こどもの命を守るために 事故防止と乳幼児心肺蘇生セミナー」を保育園または幼稚園に勤務している方を対象に開催し、173名が

参加し、修了証を配付いたしました。

- 7) 10月6日(木)に中部国際空港消火救難・救急医療活動総合訓練、10月20日(木)に県営名古屋空港消火救難総合訓練に参加し、本会役職員の派遣、地区医師会から医療救護班を派遣いたしました。
- 8) 10月8日(土)に名古屋市医師会との共催によるBLS&AED講習会(名古屋市医師会館)を、12月17日(土)に本会主催のBLS&AED講習会(豊橋市保健所・保健センター)を開催し、医師、医療従事者等を含め59名が参加し、修了証を配付いたしました。
- 9) 10月31日(月)、12月21日(水)、3月15日(水)に小児救急に関する研修会を医師・医療従事者・学校関係者を対象に開催し、469名が参加し、修了証を配付いたしました。
- 10) 11月13日(日)に愛知県医師会PTLS講習会を医師を対象に開催し、20名が参加し、修了証を配付いたしました。
- 11) 12月25日(日)に愛知県災害医療コーディネーター研修を愛知県・愛知医科大学との共催により開催し、保健所長・地域災害医療コーディネーター・地区医師会役員など38名の参加者がありました。
- 12) 2月12日(日)に愛知県医師会ICLS研修会を医師・看護師を対象に開催し、20名の参加者がありました。
- 13) 3月4日(土)に第35回救急医療・災害医療シンポジウムを開催し、107名の参加者がありました。

・救急医療情報システム

救急患者実態調査、急性期脳卒中に関するアンケート調査、熱傷入院患者取扱実績報告における調査を昨年に引き続き、実施いたしました。

(9) 地域保健の向上

・産業保健

- 1) 産業医学振興財団の委託事業である産業医研修事業について、産業医研修として、リフレッシュ研修、スキルアップ専門研修、スキルアップ実地研修を日本医師会認定産業医研修会として、産業医研修連絡協議会を本会産業保健部会幹事会として実施いたしました。また、地区医師会、関係団体等の行う日本医師会認定産業医研修会に共催いたしました。
- 2) 日本医師会認定産業医については、新規申請者159名および更新申請者431名が認定を受けました。
- 3) 10月13日(木)に日本医師会館で開催された第38回産業保健活動推進全国会議に出席いたしました。

・学校保健の推進

- 1) 学校保健部会幹事会・学校健診委員会において、学校医・園医報酬、県立高等学校並びに県下小中学校の心電図精度管理等について、検討・協議いたしました。
- 2) 愛知県教育委員会、愛知県学校保健会等の関係会議へ出席し、各種事項について検討・協議いたしました。また、愛知県学校保健会の行事に参加いたしました。
- 3) 7月3日(日)に心電図精度管理調査解析検討会を開催し、健診機関、教育委員会から提出のあった心電図に関し、学校健診委員会の委員を中心に解析が行われました。
- 4) 8月22日(月)に小児CKD（慢性腎臓病）対策講習会を本会館にて開催し、37名の参加者がありました。
- 5) 日本医師会学校保健委員会に委員として参加し、会長諮問事項について、検討・協議いたしました。
- 6) 10月29日(土)に第47回全国学校保健・学校医大会（札幌市）が開催され、本会からも出席いたしました。メインテーマは「みんなで築こう子どもたちの未来－考えよう学校医の果たす役割－」で、分科会にて稲坂博先生が発表いたしました。
- 7) 1月14日(土)に第32回学校保健健診懇談会を開催し、107名の参加者がありました。定例報告として、「平成28年度心電図精度管理実施報告」を名古屋大学医学部附属病院小児科講師の加藤太一先生、「小児期肥大型心筋症の心電図」を愛知県済生会リハビリテーション病院副院長の田内宣生先生、「愛知県における学校検尿の現状2016」を名古屋学芸大学ヒューマンケア学部教授の都築一夫先生、「GFR推算式—成人式と小児式の使い分け」を日本赤十字豊田看護大学専門基礎（臨床医学）教授の上村治先生より報告いただきました。続いて、特別講演として、「学校心臓検診で発見される遺伝性不整脈」と題し、筑波大学医学医療系小児科教授・茨城県立こども病院副院長の堀米仁志先生よりご講演いただきました。
- 8) 3月5日(日)に学校保健シンポジウムを開催し、132名の参加者がありました。特別講演として、「子どもの生活習慣病に関する全国調査・介入試験結果と今後の課題」と題し、独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター小児科小児科医師の吉永正夫先生にご講演いただき、定例報告として、独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全部名古屋業務推進課課長より「平成27年度の学校管理下における災害発生の現況」と題し、ご報告をいただきました。引き続きシンポジウムでは、「運動器検診の問題点」をテーマに、「運動器検診における四肢検診の問題点」と題し、たつや整形外科クリニック院長の加藤龍也先生、「側弯症検診の問題点」と題し、国家公務員共済組合連合会名城病院整形外科・脊椎脊髄センター長の川上紀明先生、「名古屋市学校医会の運動器検診アンケート結果報告」と題し、名古屋市学校医会副会長の松川武平先生、「学校における運動器

検診の実際と課題」と題し、海部郡大治町立大治南小学校養護教諭の横井里枝先生よりご発表いただき、会場から多くの質問が寄せられました。

- 9) 3月13日(月)に平成29年度定期健康診断における精度管理説明会を開催し、平成29年度に愛知県立学校の健診を実施する11の健診機関に対し、愛知県立学校腎臓検診・心臓検診に対して学校保健部会学校健診委員会が行う精度管理について説明いたしました。

・母体保護法指定医師の指定

- 1) 4月～3月に62名の母体保護法指定医師を指定いたしました。新規指定医師等に対しては、指導講習会を実施しております。

平成29年3月末日における母体保護法指定医師は、457名です。

- 2) 母体保護法指定医師に対し、6月4日(土)、6月11日(土)、7月23日(土)、8月20日(土)、9月3日(土)に母体保護法指定医師講習会を開催いたしました。

(10) 医療保険・介護保険の充実

(医療保険関連)

・社会保険

- 1) 保険診療の質的向上及び適正化を図るため、保険医療機関に対する指導監査の立会いを実施いたしました。
- 2) 8月7日(日)、9月11日(日)開催の「中部医師会連合社会保険特別委員会」へ出席し、各県の指導監査の状況、高額医薬品、社会保険診療報酬支払基金の統一審査基準、向精神薬等の適応外処方について議論・意見交換を行いました。
- 3) 会員を対象に、社保集団指導講習会並びに医療安全説明会を4回実施いたしました。
- 4) 9月21日(水)、2月15日(水)、16日(木)に平成28年度指定更新時集団指導を東海北陸厚生局、愛知県との共催で開催いたしました。

(介護保険関連)

・介護保険

- 1) 地域医療介護委員会では介護保険、高齢者福祉、障害者福祉、認知症対策等に係る関連事業の検討、各地域の諸問題に関する情報交換を行い、地区医師会および行政との連携体制の強化を図っております。
- 2) 8月6日(土)、9月10日(土)、10月1日(土)に「医療従事者の認知症対応力向上研修」を開催し、216名の参加者がありました。
- 3) 8月21日(日)に「地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会」を開催し、380名の参加者がありました。
- 4) 9月25日(日)、10月30日(日)に「中部医師会連合介護保険特別委員会」が開催され、在宅医

療・介護連携推進事業における各県の進捗状況、認知症対策に係る取り組み、平成30年診療報酬・介護報酬同時改定に向けての課題と要望などについて情報収集および意見交換が行われました。

- 5) 10月22日(土)、11月5日(土)に「かかりつけ医認知症対応力向上研修」を開催し、90名の参加者がありました。
- 6) 12月17日(土)に「保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム（テーマ：災害に強い地域包括ケアの構築を目指して）」を開催し、201名の参加者がありました。
- 7) 1月14日(土)に「認知症サポート医フォローアップ研修」を開催し、92名の参加者がありました。
- 8) 本会在宅医療対応医療機関検索システム「あいち在宅医療ネット」に登録されている全医療機関の登録情報を更新いたしました。また、愛知医報等を通じて会員および関係機関へ周知啓発し、新規登録への募集を随時行っております。

(11) 医療安全対策の推進

・医療事故・医事紛争対策

- 1) 医療事故・医事紛争対策については、医療過誤の未然防止、医事紛争処理、医療賠償等の観点から、医療安全対策委員会において種々検討いたしました。さらに、実効性のある医事紛争解決と医療安全のあり方、医療事故調査制度について、医療安全対策小委員会で検討いたしました。
- 2) 6月8日(水)に日本医師会「医療安全対策委員会」に委員として参加し、医療事故調査制度等について検討を行いました。
- 3) 12月1日(木)に日本医師会「都道府県医師会医事紛争担当事務連絡協議会」に参加し、日医医賠償保険制度の変更点の詳細、医療事故調査制度の最近の動き等について検討を行いました。
- 4) 12月2日(金)に日本医師会「医療安全対策委員会」に委員として参加し、医療事故調査制度における院内事故調査を担う人材の育成について検討を行いました。
- 5) 日本医師会「医師賠償責任保険」の関係では、4月～3月に17件日本医師会へ付託いたしました。また「日医医賠償特約保険」の加入者は、3月末現在で1,763名になりました。
- 6) 医療事故調査制度相談窓口への相談・支援依頼は4月～3月に相談が7件、支援依頼が11件ありました。

・医療安全支援センター（苦情相談センター）

- 1) 4月～3月の相談受付件数は新規・継続ケースを合わせて1,665件となりました。相談窓口業務及び対応を相談員（看護師、精神保健福祉士、医療ソーシャルワーカー）が担

い、医療に関わる専門的な対応については、担当理事及び医療安全支援センター（苦情相談センター）委員会の専門委員（医師）によって適切になされました。

- 2) 5月14日(土)に中区役所ホールにおいて、平成28年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第1回講演会を開催いたしました。「医療における信頼の諸問題 安全と医療倫理」をテーマに、上尾中央総合病院院長補佐・情報管理部長の長谷川剛先生にご講演いただき、400名の参加者がありました。
- 3) 7月4日(月)に開催された、平成28年度愛知県等医療安全支援センター担当者連絡会議に参加し、関係機関との情報交換を行いました。
- 4) 7月23日(土)に中区役所ホールにおいて、平成28年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第1回事例検討会を開催し、278名の参加者がありました。
- 5) 9月10日(土)にミッドランドホールにおいて、平成28年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第2回講演会を開催いたしました。「システムティックな患者対応：困難事例に対応する」をテーマに、東京大学医学部附属病院患者相談・臨床倫理センターセンター長の瀧本禎之先生にご講演いただき、287名の参加者がありました。
- 6) 11月19日(土)にJPタワー名古屋ホール&カンファレンス ホールにおいて、平成28年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第2回事例検討会を開催し、139名の参加者がありました。
- 7) 1月21日(土)に吹上メインホールにおいて、平成28年度愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）第3回事例検討会を開催し、210名の参加者がありました。
- 8) 1月22日(日)に開催された「平成28年度広島県医師会医療安全研修会」において本センターの取り組みを発表いたしました。
- 9) 1月31日(火)に開催された「平成28年度愛知県医療安全推進協議会」に出席いたしました。
- 10) 『愛知県医師会医療安全支援センター（苦情相談センター）事例検討会報告集 2016』を作成し、会員始め関係機関へ配付いたしました。

・医療安全対策

平成22年度より医療安全対策の一環として運営している愛知県医師会剖検システムは、愛知県下四大学病院の病理部門のご協力をいただき順調な運営を続けております。

- 1) 10月5日(水)にミッドランドホールにおいて、県民向けの講習会として、浜松医療センター院長の小林隆夫先生を講師に迎え、「身近に潜むエコノミークラス症候群の予防－来たるべき巨大地震に備えて－」の演題で開催し、225名の参加者がありました。
- 2) 12月5日(月)にウインクあいち大ホールにおいて、医療従事者向けの講習会として、日本ヒューマンファクター研究所副所長・教育開発研究室長、元日本航空インターナショナル機長の塚原利夫先生を講師に迎え、「医療の現場力向上に向けて－医療安全の視点か

らー」の演題で開催し、268名の参加者がありました。

- 3) 12月27日(火)に愛知県下の医療事故調査等支援団体との協力・連携を目的とした、愛知県医療事故調査等支援団体連絡協議会を開催するために、愛知県医療事故調査等支援団体連絡協議会開催に向けての検討会を開催いたしました。
- 4) 2月8日(水)にウイックあいち大ホールにおいて、医療従事者向けの講習会として、大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部教授・部長の中島和江先生を講師に迎え、「医療チームの安全を支えるノンテクニカルスキル～スピークアップとリーダーシップ～」の演題で開催し、359名の参加者がありました。
- 5) 2月11日(土)に名古屋東急ホテルにおいて、医療安全対策委員会「勉強会」として、一般社団法人日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）常務理事の木村壯介先生を講師に迎え、「医療事故調査制度の現状と支援団体の役割」の演題で開催し、49名の参加者がありました。
- 6) 3月28日(火)に愛知県下の医療事故調査等支援団体との協力・連携を目的とした、愛知県医療事故調査等支援団体連絡協議会を開催いたしました。

(12) 医療施設の整備

・共同利用施設並びに臨床検査精度管理

共同利用施設については、県下医師会の共同利用施設と連携しつつ、11月3日（木・祝）にはホテルアソシア静岡において開催されました「平成28年度中部医師連合共同利用施設連絡協議会」に参加いたしました。

臨床検査精度管理については、県下における臨床検査施設の実態把握と精度向上を図る目的で、直送方式の精度管理調査（血清学・血液学・病理学・生化学）を実施いたしました。

(13) 会員の福祉の向上

・労働保険事務組合

委託事業所数は88件（3月31日現在）であり、前年度から2件の減少がありました。事務手続きは社会保険労務士事務所へ委託しており、手続き件数は取得77件、喪失84件でした。

・生命保険団体取扱い

生命保険団体取扱事務の現状は、現在8社、契約人数651人、契約件数970件であり、月掛取扱保険料は、6,638万余円でした。〈別表6参照〉

・会員相談窓口

平成22年9月1日に会員福祉を目的として設置され、平成24年4月16日より一般相談と分けて専門の相談員による診療報酬に関する相談窓口を開設いたしました。

平成28年度の一般相談件数は121件あり、その内、医療安全対策委員会で諮られた事例は2件、診療報酬に関する相談は214件でありました。相談の対応については、担当理事を始め、専門家の見解を得て、適切に行っております。

・事業概要等説明会

平成28年度より、会の趣旨をわかりやすくするため、従来の新入会員等説明懇談会から愛知県医師会事業概要等説明会へ改称いたしました。平成27年12月から平成28年7月入会の新入会員を対象に10月6日(木)に開催いたしました。内容としては、「医師会の機構と運営」「保険診療上の留意点」「苦情相談、会員相談窓口」「地域包括ケア・在宅医療」「愛知県広域予防接種事業」「医療安全」についてそれぞれ説明を行い、120名の参加者がありました。また、「事業概要・諸規程・名簿」を冊子にまとめ、3月15日発行の愛知医報に同梱し、A会員に配付いたしました。

(14) 医師会及び医療関連団体との連携・県民への広報活動

(渉 外)

・中部医師会連合

本連合の事業年度が7月1日から翌年6月30日までの1年間となる規約のため、平成28年4月～6月までは前年度に引き続いて三重県が、7月からは静岡県が主務担当となり、常任委員会13回、常任委員会懇談会2回、日医代議員協議会2回が開催されました。社保、介護、勤務医の特別委員会は、11月に静岡市で開催されました委員総会において協議、検討内容について各委員長より報告されました。また、事務局長連絡協議会は2回開催されました。

・関西医師会連合

主務担当は大阪府。8月6日(土)に大阪市において関西医師会連合常任委員会が開催されました。次年度主務担当県は静岡県です。

(IT化対策)

・ホームページ・IT化対策

- 1) 日本医師会の遠隔会議システムを利用するため、機器の設置、設定、音声・映像の調整等を実施いたしました。また、本会と郡市区医師会で遠隔会議ができるようにするため、必要となる機器、ネットワーク構成、導入プロセス等を検討し、テストを実施いたしました。
- 2) 災害時安否情報確認システムについて、定期的に疎通確認を実施いたしました。また、登録者の追加等実施をいたしました。
- 3) 過不足なく迅速に会員への情報提供を図るため、ホームページ及び愛医通信を運用し、

内容の充実に努めました。また、ホームページの愛医通信サイトのデータベース化による利便性向上を実施いたしました。

- 4) 災害対策、業務継続性の観点から、愛知県医師会ネットワークのデータセンター化を実施いたしました。
- 5) 会館内ネットワークのセキュリティ強化を実施いたしました。
- 6) 来館者が接続可能な無線アクセスポイントを各階に設置いたしました。

(広 報)

・広 報

医師会活動等を紹介する本会機関誌「愛知医報」を毎月2回（1日・15日）発刊いたしました。掲載内容は広報委員会において、愛知県医師会として発信・周知すべき情報等や構成について検討・決定いたしました。

平成29年11月実施予定の愛知県医師会設立70周年記念式典にあわせて、平成18年度から平成27年度までの10年間分の活動内容を纏めた愛知県医師会史の発刊に向け、作業を進めております。

・ 対外広報

報道関係者と原則月1回懇談会を開催し、医療問題等について積極的に話し合いを行いました。

(15) 医師・医療関係従事者対策

(医師確保対策事業の推進)

・ 医師確保

本会では、平成18年9月1日より事務局内に愛知県医師会地域医療人材育成センター（ドクターバンク）窓口を開設し、医師の職業紹介事業を行っており、本年度は愛知県地域医療支援センター（内海眞センター長）と連携して対応いたしました。これに伴い、求職医師と求人医療機関の情報を的確に把握するため、登録情報の再確認を行いました。平成28年度の紹介件数は15件で、採用件数は9件でした。

・ 男女共同参画

- 1) 近年、医療現場で働く女性医師数が増加している一方、医師としてのキャリアと家事・育児を両立する難しさ等、数多くの問題があります。昨今の医師不足の中、これからも増加していくであろう女性医師や女子医学生の活用は必要不可欠なことを考え、多くの諸問題に取り組みました。また、平成29年度に本会が担当県として開催する日本医師会主催「第13回男女共同参画フォーラム」について、詳細を検討いたしました。
- 2) 1月20日(金)に名古屋大学で「医学生、研修医等をサポートするための会」を開催し、85

名の参加がありました。

・若手医師対策

5月7日(土)に臨床研修指定病院の病院長、指導医、研修医の先生方を対象として、名古屋市医師会との共催で「名古屋市医師会・愛知県医師会 新研修医並びに指導医ウェルカムパーティ」を開催し、東海北陸厚生局の三宅智局長から「保険診療について」と題してご講演いただきました。医師会関係者を含め158名の参加者がありました。また、愛知県が12月10日(土)に開催した「地域医療確保修学生研修会」終了後の有志の懇談会に対して助成を行いました。

(医療従事者対策)

・医療従事者対策

- 1) 医療従事者関係無料職業紹介所を常設し、取扱い職業を医療関係者とし、求人(41件)・求職(2件)の登録、紹介と斡旋を行いました。
- 2) 医療関連職検討委員会において、各看護学校より入学・卒業、准看護師資格取得状況等を報告され、問題点等を検討いたしました。また、愛知県下にて准看護師養成所の学生募集が円滑に行えるよう検討いたしました。
- 3) 医療事務員講習会を9月・10月・11月に開催し、全15日間、30講座を行いました。12月には資格認定試験を行い、67名が受験し全員合格いたしました。
- 4) 医療機関の事務職員が経営管理等の観点から病床機能の分化および地域医療連携を進めていくことが、病床の機能転換や医療資源の効率化の推進に繋がると考えられます。本会では今年度より愛知県から「地域医療連携研修事業」を受託し、地域医療連携の必要性を理解して地域における自院の役割を主体的に考えることができる人材の養成を目的とした「病院職員のための教育ワークショップ」を開催いたしました。「地域医療構想から自院を再発見する」をテーマに11月19日(土)、3月11日(土)の2回開催し、延べ39名の参加者がありました。

〈助産師学院〉

- 1) 4月8日(金)に愛知県医師会館にて入学式が行われ、20名が入学いたしました。
- 2) 6月24日(金)、2月10日(金)に愛知県医師会館にて運営協議会が開催されました。
- 3) 3月10日(金)に愛知県医師会館にて卒業式が行われ、18名が卒業いたしました。
- 4) 愛知県内での助産師育成という当初の目的を達成したため、3月16日(木)第36回(定例)理事会において平成30年3月末での閉校が承認されたことに伴い、学生募集中止の申請を行いました。

〈医療秘書学院〉

- 1) 平成27年度より学校法人電波学園 あいちビジネス専門学校(全日制)へ外部委託して

おり、平成28年度は88名が入学いたしました。

2) 11月1日(火)に第20回医療保険請求事務実技試験が行われ、81名が合格いたしました。

3) 2月5日(日)に第37回日本医師会医療秘書認定試験が行われ、81名が合格いたしました。

4) 3月10日(金)にあいちビジネス専門学校の卒業式が行われ、96名が卒業いたしました。

(16) 会務運営・総務・財務

・会館整備

8月、2月に消防点検を実施し、非常放送や火災感知器等の消火設備の動作確認を行いました。また、定期点検も各法に基づいて適正に実施いたしました。12月には雨漏りをして
いた玄関口の修繕工事及び玄関口の看板を設置し、3月には1階ロビーに会館案内ボード
を設置いたしました。

・会館運営

日常における法定清掃を適正に行い、会館の維持管理に努めました。また、会館管理規程
に則り、適正な会館運営をいたしました。〈別表7参照〉

(17) その他

・会員名簿の作成

平成28年版会員名簿を作成し、平成29年1月1日発行の愛知医報にCD版を同梱のうえ発
送いたしました。(A会員の一部希望者には冊子も発送いたしました。)

会 員 数 〈別表1〉

平成29年3月31日現在の本会会員数は9,271名で県下医師会別は下表の通りであります。

区 分	会 員 数
名古屋市	3,559
一宮市	604
瀬戸旭市	222
半田市	122
春日井市	299
津島市	79
小牧市	117
東海市	99
岩倉市	48
東名古屋	227
西名古屋	163
尾北	282
稲沢市	128
海部	233
知多郡	287
豊橋市	495
岡崎市	439
豊川市	180
碧南市	53
刈谷	254
豊田加茂	444
蒲郡市	74
安城市	212
西尾市	118
北設楽郡	7
新城市	40
田原市	47
名古屋市大	168
名古屋市大	117
藤保大	71
愛医大	83
合 計	9,271

物故会員〈別表2〉

(平成28年4月～平成29年3月届出分)(敬称略)

氏名	年齢	地区	死亡年月日
伊藤清次様	88歳	名古屋市	H27.2.28
後藤壽美子様	89歳	名古屋市	H27.9.17
藤田圭治様	50歳	名古屋市	H28.2.19
吉田光伸様	53歳	名古屋市	H28.2.21
辻容一様	67歳	一宮市	H28.2.28
山口貞雄様	90歳	名古屋市	H28.3.1
児玉欣也様	76歳	一宮市	H28.3.13
廣瀬善哉様	90歳	名古屋市	H28.3.14
本間栄様	87歳	知多郡	H28.3.16
杉江清様	89歳	知多郡	H28.3.24
岡本町子様	86歳	蒲郡市	H28.3.24
志賀博様	91歳	一宮市	H28.3.27
上田公介様	70歳	名古屋市	H28.3.30
山崎旦様	95歳	北設楽郡	H28.4.4
後藤幸子様	89歳	一宮市	H28.4.10
中山尚典様	57歳	一宮市	H28.4.11
小林一到様	84歳	蒲郡市	H28.4.16
前田實様	69歳	豊田加茂	H28.4.17
松井務様	87歳	名古屋市	H28.4.18
内藤徹様	86歳	名古屋市	H28.4.23
小杉善之助様	93歳	名古屋市	H28.4.28
大野三良様	70歳	名古屋市	H28.4.28
今泉淳様	87歳	名古屋市	H28.5.1
徳田寿一様	59歳	瀬戸旭	H28.5.1
亀井泉様	67歳	尾北	H28.5.19
三浦巖様	95歳	名古屋市	H28.5.20
竹内清様	87歳	名古屋市	H28.5.24
田中康彦様	90歳	名古屋市	H28.5.28
杉浦皓様	80歳	岡崎市	H28.5.30

田中栄一様	72歳	名古屋	市	H28.6.9
片山昭男様	54歳	名古屋	市	H28.6.17
黒田清様	92歳	東名古屋	市	H28.6.19
小林襄様	82歳	豊橋	市	H28.6.21
鈴木克昌様	50歳	豊川	市	H28.6.22
岩見公晴様	71歳	名古屋	市	H28.6.29
野田隆由様	86歳	名古屋	市	H28.6.30
米田直子様	68歳	名古屋	市	H28.7.8
妹尾久雄様	71歳	名古屋	大学	H28.7.10
伊藤健様	83歳	名古屋	市	H28.7.21
中村英伸様	51歳	知多	郡	H28.7.22
伊東明雄様	62歳	知多	郡	H28.7.23
野村欽一様	94歳	名古屋	市	H28.8.2
岡田とみ子様	104歳	岡崎	市	H28.8.3
堀井秀夫様	85歳	名古屋	市	H28.8.4
玉置甲子様	92歳	蒲郡	市	H28.8.6
前田周造様	75歳	名古屋	市	H28.8.10
阪正和様	89歳	春日井	市	H28.8.12
大谷功様	89歳	豊川	市	H28.8.31
篠邊次郎様	90歳	名古屋	市	H28.9.2
後藤峰弘様	62歳	愛知	医科大学	H28.9.2
水谷明様	84歳	名古屋	市	H28.9.7
吉田均様	69歳	名古屋	市	H28.9.9
太田実様	66歳	名古屋	市	H28.9.12
稲垣泰介様	89歳	西名古屋	市	H28.9.13
小川清夫様	88歳	岩倉	市	H28.9.13
中村道太郎様	104歳	名古屋	市	H28.9.20
堀文衛様	90歳	名古屋	市	H28.9.25
大塚基様	80歳	名古屋	市	H28.10.6
神谷聡様	49歳	刈谷	市	H28.10.8
榊原茂様	65歳	名古屋	市	H28.10.9
藤田昭夫様	86歳	蒲郡	市	H28.10.12

田中申爾様	96歳	豊田加茂	H28.10.13
佐藤制一様	89歳	岡崎市	H28.10.14
後藤雄様	82歳	蒲郡市	H28.10.22
保科正章様	60歳	名古屋市	H28.11.10
大脇研一様	61歳	名古屋市	H28.11.17
小出秀夫様	97歳	瀬戸旭	H28.11.24
寺澤正明様	92歳	岩倉市	H28.11.26
富田洋様	82歳	名古屋市	H28.11.27
中島俊介様	62歳	名古屋市	H28.11.30
神谷孝治様	87歳	岡崎市	H28.12.1
丸山徳美様	86歳	名古屋市	H28.12.5
武内亮様	58歳	尾北	H28.12.7
内田修様	87歳	岡崎市	H28.12.11
天野良平様	68歳	豊川市	H28.12.11
鷺見敏様	88歳	名古屋市	H28.12.13
渡辺敏弘様	79歳	名古屋市	H28.12.14
住田ちづ子様	90歳	名古屋市	H28.12.29
箭頭正裕様	79歳	名古屋市	H29.1.3
佐久間秀和様	62歳	名古屋市	H29.1.4
跡見夏雄様	93歳	豊橋市	H29.1.11
山本續子様	73歳	名古屋市	H29.1.12
滝靖子様	81歳	尾北	H29.1.16
永瀬典子様	91歳	名古屋市	H29.1.18
岸本建彦様	74歳	岡崎市	H29.1.22
齋藤定三様	89歳	豊橋市	H29.1.24
林茂弘様	85歳	名古屋市	H29.1.25
花澤勇様	85歳	豊田加茂	H29.1.25
松山圭吾様	91歳	名古屋市	H29.1.27
束村純雄様	89歳	知多郡	H29.1.27
水谷晃様	72歳	西尾市	H29.2.6
田中隆義様	70歳	名古屋市	H29.2.7
近藤龍夫様	88歳	名古屋市	H29.2.8

高濱雅男様	94歳	尾北	H29.2.18
西垣郁雄様	91歳	名古屋市	H29.2.19
安井弘子様	87歳	名古屋市	H29.2.22
竹内吉彌様	80歳	東名古屋	H29.3.16

日本医師会生涯教育講座〈別表3〉

【外科】	
日 時	平成28年 8 月18日(木)14：00～16：00
会 場	愛知県医師会館 地下健康教育講堂
共 催	愛知県外科医会
テーマ	肺癌・呼吸器疾患
司 会	愛知県外科医会生涯教育委員会委員長 錦見尚道
座 長	愛知県外科医会副会長 佐藤和郎
演題1	呼吸器疾患 診断と内科的治療の進歩
講 師	名古屋第一赤十字病院第一呼吸器内科部長 野村史郎
座 長	愛知県外科医会副会長 山内晶司
演題2	今日の呼吸器外科 -アートとサイエンス-
講 師	名古屋大学医学部附属病院呼吸器外科病院講師 福井高幸
参加者43名	

【産婦人科】	
日 時	平成28年 8 月20日(土)14：30～17：00
会 場	愛知県医師会館 9階大講堂
共 催	愛知県産婦人科医会
司 会	名古屋市立東部医療センター副院長 村上 勇
演題1	母体保護法の趣旨と適正な運用について
講 師	愛知県産婦人科医会理事 藪下廣光
座 長	飯田レディースクリニック院長 飯田忠史
演題2	新生児マススクリーニングの新規任意対象疾患： ポンペ病・免疫不全症のマススクリーニング
講 師	藤田保健衛生大学小児科教授 伊藤哲哉 名古屋大学小児科 小島大英
座 長	名古屋第一赤十字病院総合周産期母子医療センター長 古橋 円
演題3	妊婦さんやピル内服患者の血栓症を見逃さないコツ
講 師	奈良県立医科大学産婦人科教授 小林 浩
参加者155名	

【眼科】	
期 日	平成28年 8 月27日(土)15：00～18：00
会 場	愛知県医師会館 9階大講堂
共 催	愛知県眼科医会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 中村 誠
演題1	強度近視における画像診断の進歩
講 師	いくの眼科院長（大阪）、大阪大学招へい教授、金沢大学臨床学外教授 生野恭司
演題2	緑内障手術～最近の動向
講 師	松江赤十字病院眼科部部长 谷戸正樹
参加者157名	

【内科】	
日 時	平成28年 9 月 3 日(土)14：00～17：00
会 場	愛知県医師会館 地下健康教育講堂
共 催	愛知県内科医会
テーマ	正しい診断を求めて
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会副委員長 安藤忠夫
演題1	診断推論～ヒラメキと論理を科学する～
講 師	名古屋第二赤十字病院副院長総合内科部長 野口善令
演題2	咳を聴き、咳を解く
講 師	亀井内科呼吸器科院長 亀井三博
参加者71名	

【皮膚科】	
日 時	平成28年10月 8 日(土)15：00～17：00
会 場	愛知県医師会館 9階大講堂
共 催	愛知県皮膚科医会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 春原晶代
演題1	遺伝性色素異常症のいろいろ
講 師	名古屋大学大学院医学系研究科皮膚病態学分野准教授 河野通浩
演題2	これからの乾癬治療について考える～より高い治療目標を目指して～
講 師	名古屋市立大学病院皮膚科講師 西田絵美
参加者42名	

【耳鼻咽喉科】	
日 時	平成28年10月22日(土)16：00～18：00
会 場	愛知県医師会館 9階大講堂
共 催	愛知県耳鼻咽喉科医会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 西山禮二
座 長	愛知県耳鼻咽喉科医会理事 加藤一壽
演題1	痙攣性発声障害の診断と治療
講 師	戸田中央総合病院耳鼻咽喉科部長 中村一博
座 長	愛知県耳鼻咽喉科医会理事 星野通隆
演題2	人工聴覚器の現状と未来
講 師	近畿大学医学部医学科教授 土井勝美
参加者154名	

【精神科】	
日 時	平成28年11月5日(土)14：00～15：30
会 場	愛知県医師会館 5階医師連盟会議室
共 催	愛知県精神科医会・愛知県精神科病院協会・愛知精神神経科診療所協会
司 会	愛知県医師会生涯教育委員会委員 平山太日子
演題1	認知行動療法を日常診療につなげる～CBTの可能性と展望～
講 師	名古屋市立大学大学院人間文化研究科教授 中野有美
参加者26名	

【小児科】	
日 時	平成28年11月27日(日)14：30～17：00
会 場	愛知県医師会館 9階大講堂
共 催	愛知県小児科医会
司 会	愛知県小児科医会研修委員会委員 花田直樹
座 長	愛知県小児科医会研修委員会委員 花田直樹
演題1	リズム障害としての自閉症
講 師	同志社大学赤ちゃん学研究センター教授、センター長 兵庫県立リハビリテーション中央病院こどもの睡眠と発達医療センター センター長 小西行郎
演題2	日常診療に役立つ超音波検査
講 師	あいち小児保健医療総合センター放射線診療科部長 金川公夫
参加者104名	

愛知県医師会健康教育講座〈別表4〉

回数	開催日	テ ー マ	講 師	参加者数
799	4月12日	中高齢者の膝関節痛 一口コモと 変形性膝関節症—いつまでも元氣 に歩くために	名古屋市立大学整形外科 病院教授 小林 正 明	347
800	5月21日	トイレのこと気にしない生活へ ～いきいきとした毎日を考えま しょう！～ 『泌尿器科って何？』 『排尿障害について』	豊川市民病院泌尿器科 医 長 遠 藤 純 央 新城市民病院 副院長 鈴木 明 彦	113
801	5月26日	前立腺癌診療 up date	名古屋市立大学大学院 腎・泌尿器科学分野 准教授 戸 澤 啓 一	159
802	6月8日	知らなかった！を知る、リウマチ に似た病気～目で見える膠原病のお 話～	中京病院皮膚科部長 膠原病リウマチセンター長 小 寺 雅 也	191
803	7月12日	知っておきたい！身近なカラダの 不調に対する漢方薬治療	名古屋大学医学部産婦人科 准教授 梶 山 広 明	182
804	8月31日	「認知症カフェ」ってどんなと こ？	並木病院 院 長 山 本 纈 子	186
805	9月17日	子どものアトピー性皮膚炎の日常 ケア	国立病院機構名古屋医療セン ター小児科 医 長 二 村 昌 樹	46
806	9月27日	悪性脳腫瘍の最新治療	藤田保健衛生大学 副院長 廣 瀬 雄 一	85
807	9月29日	こころとからだの健康と眠り	かゆかわクリニック 院 長 粥 川 裕 平	243

808	10月8日	小笠原先生、ひとりで家で死ねますか？	小笠原内科理事長兼院長 日本在宅ホスピス協会会長 小笠原 文 雄	361
809	10月19日	メディアの弊害とノーメディア運動の取り組み	医療法人こどもの城 すずかこどもクリニック 院 長 渡 辺 正 博	62
810	11月2日	脳卒中のお話 —治療、予防について—	蒲郡市民病院脳神経外科 施設長 杉 野 文 彦	39
811	11月10日	胃がんを知ろう 診断から治療まで	名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 教 授 小 寺 泰 弘	190
812	11月12日	「脳卒中予防十か条」をご紹介します 脳卒中予防のための糖尿病の知識	成田記念病院脳神経外科 部 長 林 泰 弘 豊橋市民病院糖尿病・内分泌内科 部 長 山 守 育 雄	130
813	11月20日	増え続ける乳がん ～乳がんに負けないで～	岡崎市医師会副センター長 乳腺統括部長 山 下 純 一	20
814	11月25日	中高年に多い眼の病気とその最新治療	国立病院機構 名古屋医療センター眼科 医 長 廣 瀬 浩 士	55
815	12月12日	骨をケアし、健康寿命をのばそう！ ～骨粗鬆症のお話し～	東海記念病院 院 長 岡 山 直 樹	324
816	12月16日	年をとるとどうして聞こえが悪くなり耳鳴りがするの？ —難聴・耳鳴りのしくみと対処法—	愛知医科大学医学部 耳鼻咽喉科学講座 教 授 植 田 広 海	101
817	1月12日	知らなかった！いろんな種類の緑内障の話	藤田保健衛生大学眼科 助 教 三 宅 悠 三	341
818	1月31日	認知症予防と運動	東海学園大学スポーツ健康科学部 教 授 島 岡 清	89

819	2月9日	健康に老いるためのコツ ～筋肉の老化はこう防ぐ～	国立長寿医療研究センター副院長 老年学・社会科学研究センター長 荒井秀典	385
820	2月12日	がんになる前に知っておきたい5 つのこと	愛知県がんセンター愛知病院 緩和ケア部長兼地域緩和ケア センター長 橋本淳	90
821	2月15日	蚊も海外旅行で日本にやってくる ～蚊が運ぶ病気について～	名古屋検疫所 中部空港検疫所 支所 検疫衛生課 検疫医療専門職 竹原木綿子	9
822	3月1日	のどにできるがん（喉頭がん・咽 頭がん）について ～お酒、タバコ、ウイルスが引き 起こす！～	藤田保健衛生大学耳鼻咽喉科 准教授 加藤久幸	198

難病相談室取扱いケース内容〈別表5〉

ケース		神経	耳鼻	眼	膠原病	皮膚	骨・関節	腎臓	循環器	消化器
	新規ケース	199	34	39	87	38	92	25	26	96
継続ケース	282	32	228	128	32	112	12	24	122	
計	481	66	267	215	70	204	37	50	218	
数		呼吸器	内分泌 及び代謝	脳外科	血液	小児	心身	血管外科	その他	合計
	新規ケース	27	31	22	34	26	43	13	78	910
	継続ケース	22	35	55	44	34	108	8	173	1,451
	計	49	66	77	78	60	151	21	251	2,361

取 扱 い 内 容	アセスメント（重複）	
	疾病の背景要因の発見	40
	治療や療養生活への適応	1,180
	家族との関係や家族の生活	391
	職業・住居などの社会生活	333
	医療・生活などの経済面	333
	社会復帰への受入れと適応	346
	医療機関利用	433
	その他	112
	合計	3,168
主なケースワーク措置		
応急的援助	4	
背景調査	114	
相談面接	931	
関係調整	1,027	
制度利用	144	
施設利用	62	
グループワーク	67	
その他	12	
合計	2,361	

新 規 ケ ー ス 紹 介 者	医療機関	61
	保健所・保健センター	117
	福祉事務所	14
	その他公的機関	50
	本人又は家族	251
	広報・ポスター等	211
	新聞・ラジオ・テレビ	7
	その他	199
合計	910	

生命保険団体取扱状況調〈別表6〉

(平成29年3月末現在)

会社名	契約人数	契約件数	月掛保険料
日本生命	211	309	27,755,975
マスマチュアル生命	7	9	180,461
ジブラルタ生命	18	30	2,037,998
第一生命	93	159	8,185,593
朝日生命	40	57	2,555,473
明治安田生命	88	121	7,488,396
三井生命	135	207	11,574,758
住友生命	59	78	6,608,262
合計	651	970	66,386,916

会館会議室等使用状況〈別表7〉

会 場 名	件 数
B 1 講 堂	50
4 F 理 事 会 議 室	58
5 F 501 会 議 室	155
6 F 601 会 議 室	98
6 F 研 修 室	125
7 F 情 報 セ ン タ ー 研 修 室	17
8 F 801 会 議 室	114
8 F 802 会 議 室	109
8 F 803 会 議 室	86
8 F 804 会 議 室	90
8 F 805 会 議 室	51
8 F 応 接 室	58
9 F 大 講 堂	176
合 計	1,187

平成28年度事業報告書（平成28年4月～平成29年3月）には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益社団法人愛知県医師会

決 議

我が国の国民皆保険制度は、すべての国民が必要な医療を安心して受けられることを可能とし、日本を世界一の健康長寿国に押し上げた。しかし、政府が推し進めている医療の成長戦略、規制緩和は、この制度を形骸化させ国民に不利益な結果を招く危険性がある。

地域医療においては、医療費の適正化のため、地域医療構想での病床削減とその受け皿としての「かかりつけ医」を中心とした地域包括ケアシステムの一層の推進が必要とされる。今後医療や介護の需要がさらに見込まれる中、病床削減ありきの医療計画は地域医療に壊滅的な打撃を与えるであろう。

また、依然として抜本的解決をみない控除対象外消費税問題は、地域医療を支える医療施設の経営を圧迫し、必要な設備投資も困難となり、地域包括ケアシステム構築の大きな妨げとなっている。

さらに、来年4月に予定されていた消費税率10%への引き上げは、世界経済が減速する中、2年半再延期されることになった。

「一億総活躍社会」を掲げる安倍政権は、社会保障の充実・安定化に充当する財源を明確に示すべきである。

以上より、我々は国民の健康と国民のための医療制度を守るために、下記のごとく決議する。

記

- 一、国民が安心して医療が受けられるように国民皆保険制度を堅持せよ
- 一、国民に十分な医療・介護を提供するための医療供給体制を構築せよ
- 一、速やかに控除対象外消費税問題の抜本的解決をせよ
- 一、将来にわたって持続可能な社会保障のための安定した財源を確保せよ

平成28年6月18日

愛知県医師会第177回（定例）代議員会

決 議

未曾有の少子高齢社会が進行し、人口減少が現実となる中、政府は一億総活躍社会を目指すとしながら、経済財政諮問会議を司令塔に経済再生と財政再建を優先してきた。国民皆保険を守るという名目で、社会保障費の伸びを年間5千億円に抑制し、高額医薬品への対応として、薬価改定を毎年実施しようとしている。医療に経済や財政の理論を押し付ける施策は、逆に国民皆保険制度の崩壊につながる。

一方、社会保障の充実と安定化に充当するとした消費税増税の延期により、財源不足と歳出削減が懸念される中、政府は安心な社会保障を目指すとして地域包括ケアシステムの構築など種々の施策を打ち出している。医療・介護への投資は、経済を活性化させ、希望を生み出す強い経済の実現につながる。その意味でも、要となる「人」に対する十分な手当てが必要であり、次期診療報酬・介護報酬同時改定は、プラス改定すべきである。

また、医師需給対策では、医師の地域、診療科の偏在が取りざたされ、保険医の配置・定数の設定や、自由開業・自由標榜の見直しを含めて検討されている。これまで医師は地域の診療活動にとどまらず、検診や予防接種、学校医・産業医活動など様々な地域の社会的役割を担って地域の包括的医療に参画し、国民の健康と長寿に貢献してきた。この医療体制の基盤を堅持するためにも、政府は医師の自立性を尊重し、強制配置による偏在対策は撤回すべきである。

以上より、我々は国民の健康と国民のための医療制度を守るために、下記のごとく決議する。

記

- 一、国民皆保険制度を堅持せよ。
- 一、次期診療報酬・介護報酬同時改定をプラス改定とせよ。
- 一、医師の強制配置による偏在対策は撤回せよ。

平成29年3月18日

愛知県医師会第178回（臨時）代議員会